

E52

中部横断
自動車道

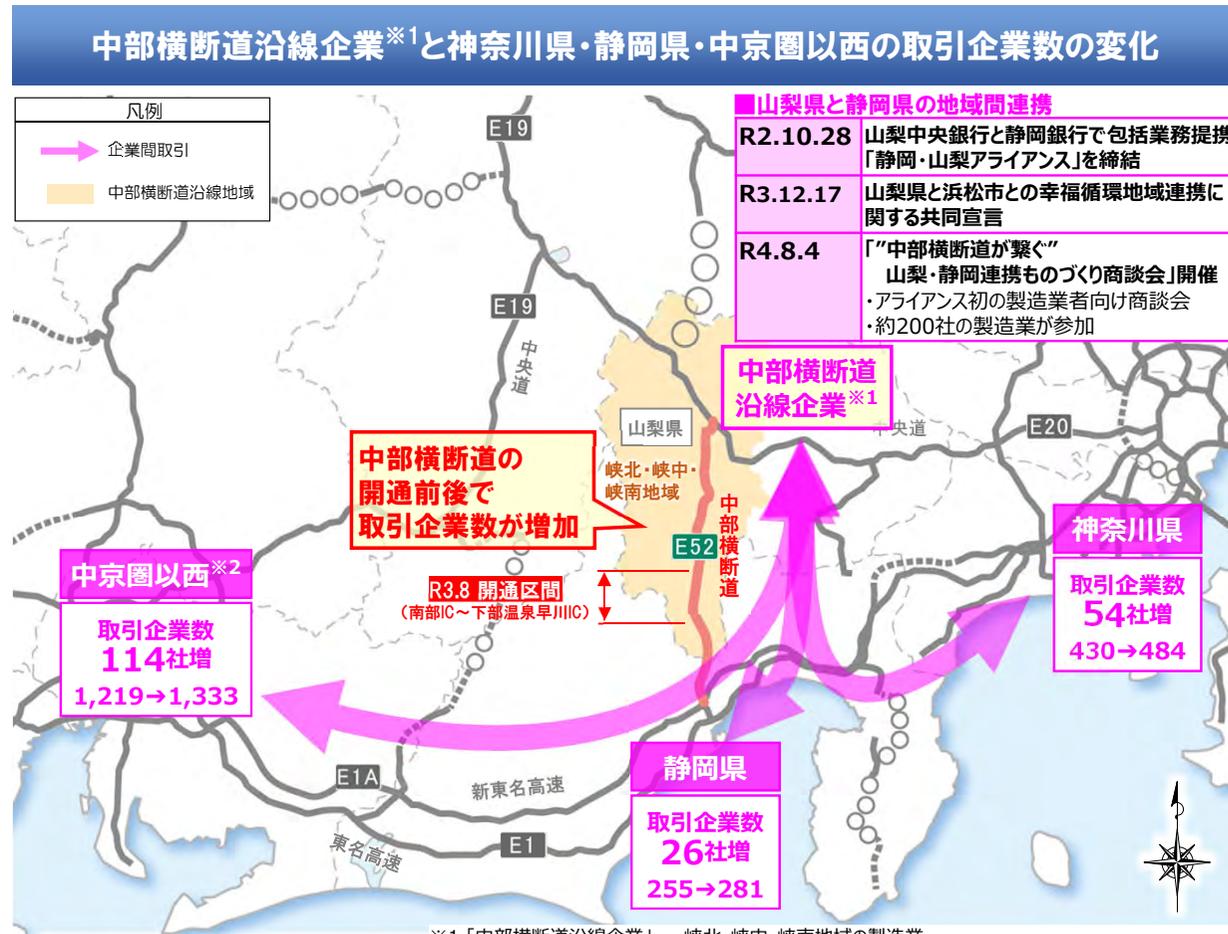
山梨～静岡

全線開通後
の
整備効果

地域産業の
活性化

企業間取引の
拡大

- 山梨中央銀行と静岡銀行は、R2年に、両行の取引先企業の販路拡大等を目指す業務提携を締結。R4年には、静岡・山梨両県の地元企業の新たな取引先を求める商談会を開催。
- 中部横断道沿線企業は、中部横断道の開通前後で取引企業数・従業者数が約1割増加するとともに、売上高が約4割増加し、経済活動が活性化。



※1「中部横断道沿線企業」… 峡北・峡中・峡南地域の製造業。
 峡北・峡中・峡南地域 甲府市、韮崎市、南アルプス市、北社市、甲斐市、中央市、市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町、昭和町
 ※2「中京圏以西」… 中京圏（愛知県・岐阜県・三重県）、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方

中部横断道沿線企業^{※1}の取引企業数・売上高・従業者数の変化



出典：企業間取引データ（株式会社帝国データバンク）
 開通前：H30.6時点、開通後：R4.6時点

E52

中部横断
自動車道

山梨～静岡

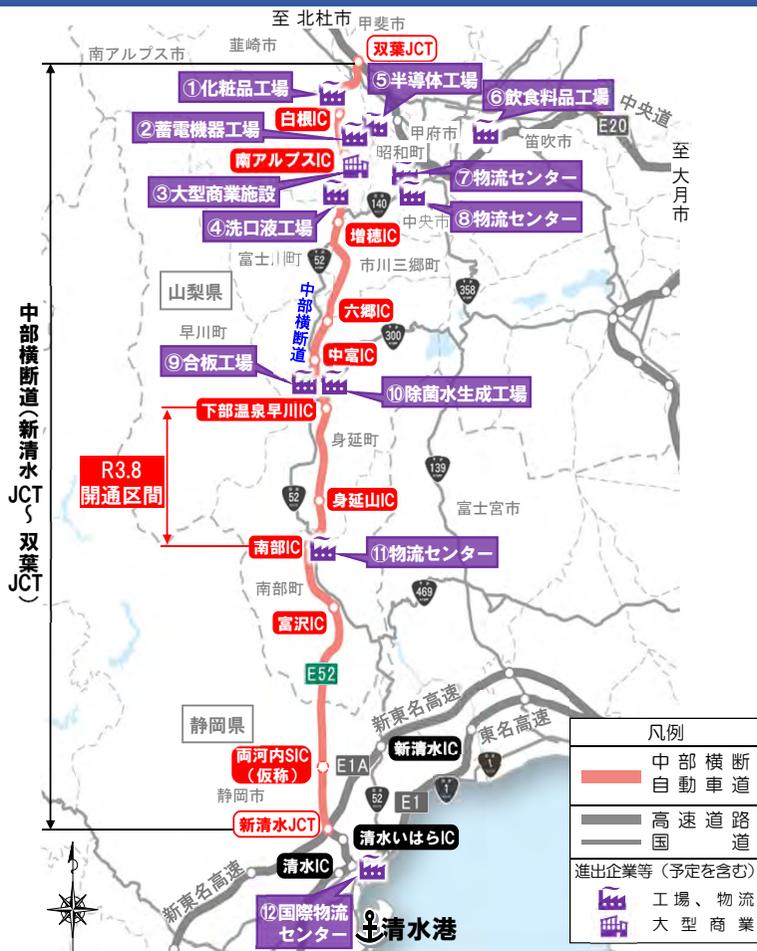
全線開通後
の
整備効果

地域産業の
活性化

工場等立地の
増加

- 中部横断道の沿線では、高速道路への良好なアクセス性から、**企業立地が増加**。地域の雇用創出に貢献。
- 山梨～静岡間の全線開通により、**更なる企業立地の計画**があり、それによる地域の雇用創出、地域の産業振興への貢献が期待。

中部横断道及び周辺高速道路※のIC付近における工場等の近年の立地状況



NO	業種等	所在地	操業・開設時期
①	化粧品工場	南アルプス市	R6予定
②	蓄電機器工場	南アルプス市	未定
③	大型商業施設	南アルプス市	R6予定
④	洗口液工場	南アルプス市	R3
⑤	半導体工場	甲斐市	R6予定
⑥	飲食料品工場	笛吹市	R6予定
⑦	物流センター	中央市	R4
⑧	物流センター	中央市	R2
⑨	合板工場	身延町	R1
⑩	除菌水生成工場	身延町	R2
⑪	物流センター	南部町	R3
⑫	国際物流センター	静岡市	R2

出典：新聞各紙、各社HP及び発表資料（R4.8時点）



写真提供：洗口液工場

■進出企業の声

- ・製品を日本全国へ出荷する際に物流コスト低減が期待できる場所として、アクセス性の良い山梨県の中部横断道沿線に新工場を開設しました。
- ・従業員の半数近くを、山梨県内から新たに採用しました。今後も地元雇用を増やし、地域活性化にも貢献していきたいと考えています。
(R4.3 ヒアリング結果)

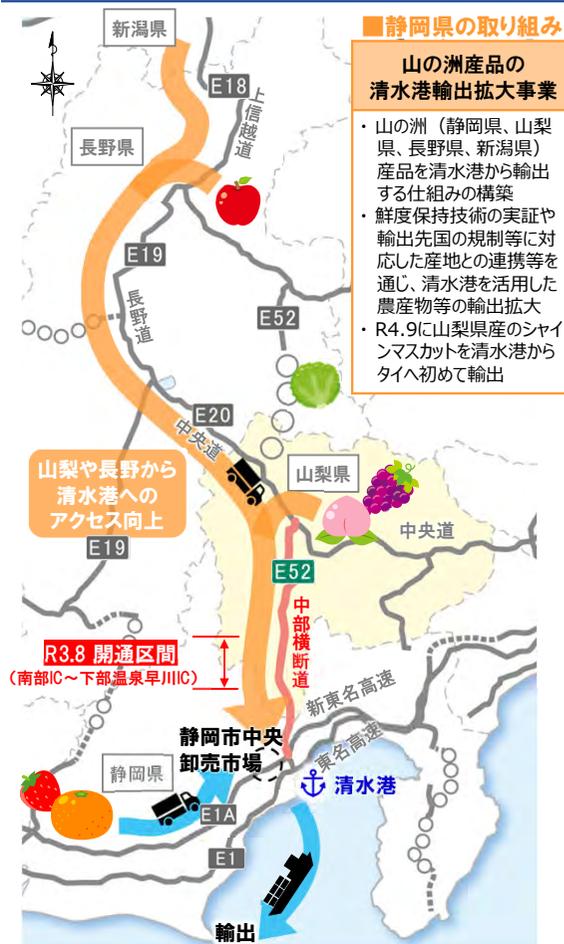
※「中部横断道及び周辺高速道路」…中部横断道、新東名高速清水連絡路、中央道（笛吹八代SIC～双葉JCT）

出典：甲府河川国道事務所
記者発表資料(R4.9.16)

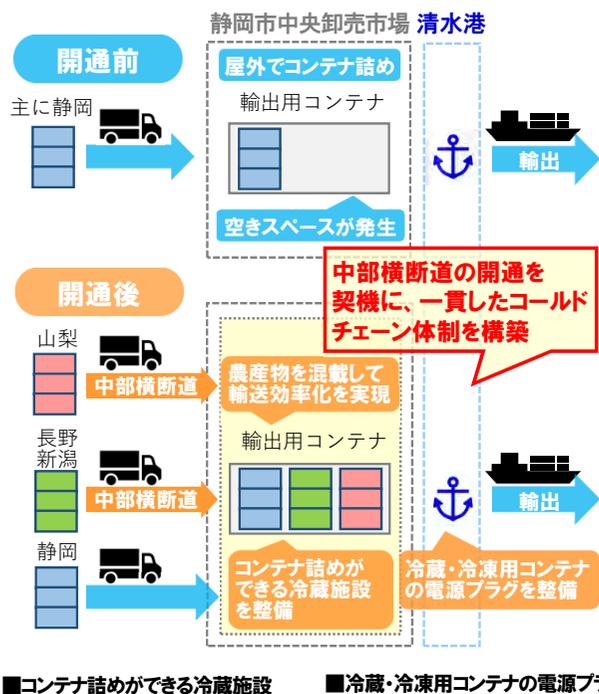
- 山梨県の農産物の輸出量は拡大傾向であるが、輸送中の品質の維持が課題。
- 中部横断道の整備を契機に、清水港、静岡市中央卸売市場では、農産物の輸出促進を目指し、**一貫したコールドチェーン※の体制を構築**するための冷蔵施設などを整備。

※ コールドチェーン：冷凍・冷蔵といった所定の温度を維持したまま、生産から輸送・保管の流通プロセスを鎖のようにつなげる仕組み

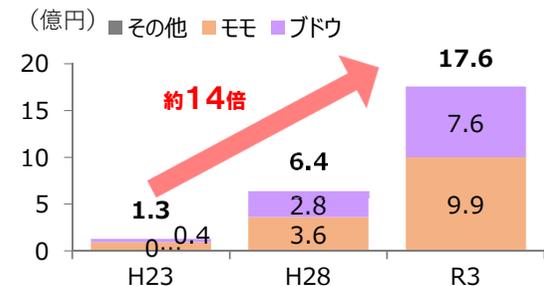
産地から清水港へのアクセス性向上



農産物の輸出促進に向けた取り組み



山梨県の農産物の輸出量



生産者(輸出事業者)の声

- ・シャインマスカットの生産と出荷を近隣の農家と行っています。出荷の大半は、台湾・香港・タイに向けての産地直送の輸出で、輸出量は年々増加しています。
- ・中部横断道の開通で、清水港までの時間が約30分短縮。畑から輸出先まで一貫したコールドチェーンを組めるようになりました。
- ・清水港からの輸出増加を見越し、耕作面積を拡大し、生産量を増加させています。(R4.3 ヒアリング結果)

市場卸売業者(青果物)の声

- ・中部横断道の開通で山梨や長野からの輸送時間が大幅に短縮し、鮮度が良い状態で着荷してきています。
- ・ブドウの脱粒などのトラブルも減少しました。(R4.2 企業ヒアリング結果)

E52

中部横断自動車道

山梨～静岡

全線開通後の整備効果

清水港を活用した輸出の促進

洋菓子の輸送効率の向上を支援

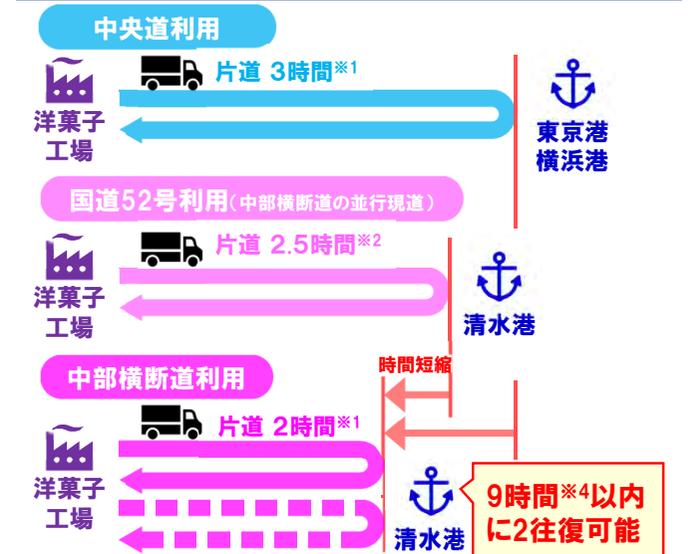
- 山梨県の洋菓子工場は、冷凍ケーキ等の輸出货量は増加傾向であり、R4年はコンテナの本数に換算すると約1,000本を輸出予定。
- 輸送ルートは、東京港・横浜港経由が約7割、清水港経由が約3割。今後は、中部横断道の開通によって、**輸送効率が高まった清水港を利用した輸出拡大に期待。**



洋菓子工場の声

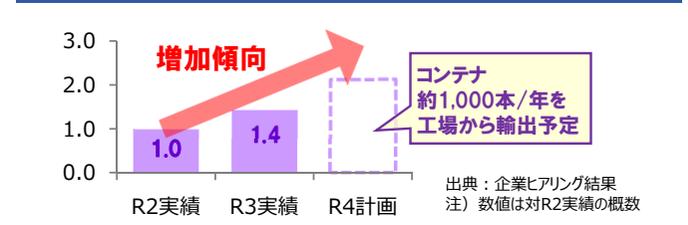
- 山梨の工場で作った商品を東京港・横浜港と清水港から海外店舗に輸出しています。
- 海外店舗は毎年増加しており、それに合わせて輸出货量も増加しています。
- 中部横断道の開通で清水港へのアクセスが良くなり、計算上では1日に2往復の輸送も可能となります。(R4.6 企業ヒアリング結果)

清水港利用による輸送の効率化



※4 『自動車運転手の労働時間等の改善のための基準』(厚生労働省)より「1日の運転時間は2日平均で9時間が限度」

洋菓子輸出货量の推移



E52

中部横断
自動車道

山梨～静岡

全線開通後
の
整備効果

清水港を
活用した
輸出の促進

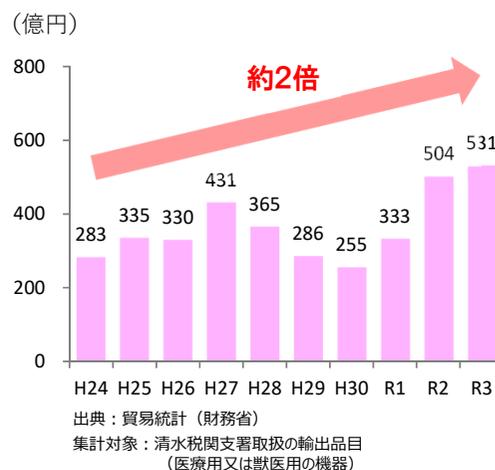
医療用機器の
輸出支援

- 山梨県と静岡県には、大手の医療用機器メーカーの工場が立地。
- 清水港からの輸出額は、H24からR3にかけて**約2倍に増加**。
- 中部横断道の開通に合わせ、中部横断道からのアクセスが良い**南部IC周辺に物流センターが開設**。
- 物流センターでは、医療用機器メーカーから製品を搬入し、コンテナ詰めを行い、清水港から輸出（医療用機器の原料の輸入も実施）。今後の輸出拡大に期待。

医療用機器輸出の物流ルート



医療用機器の輸出額(清水税関支署)



物流センター(南部町)



R4.8撮影

物流事業者(物流センター運営)の声

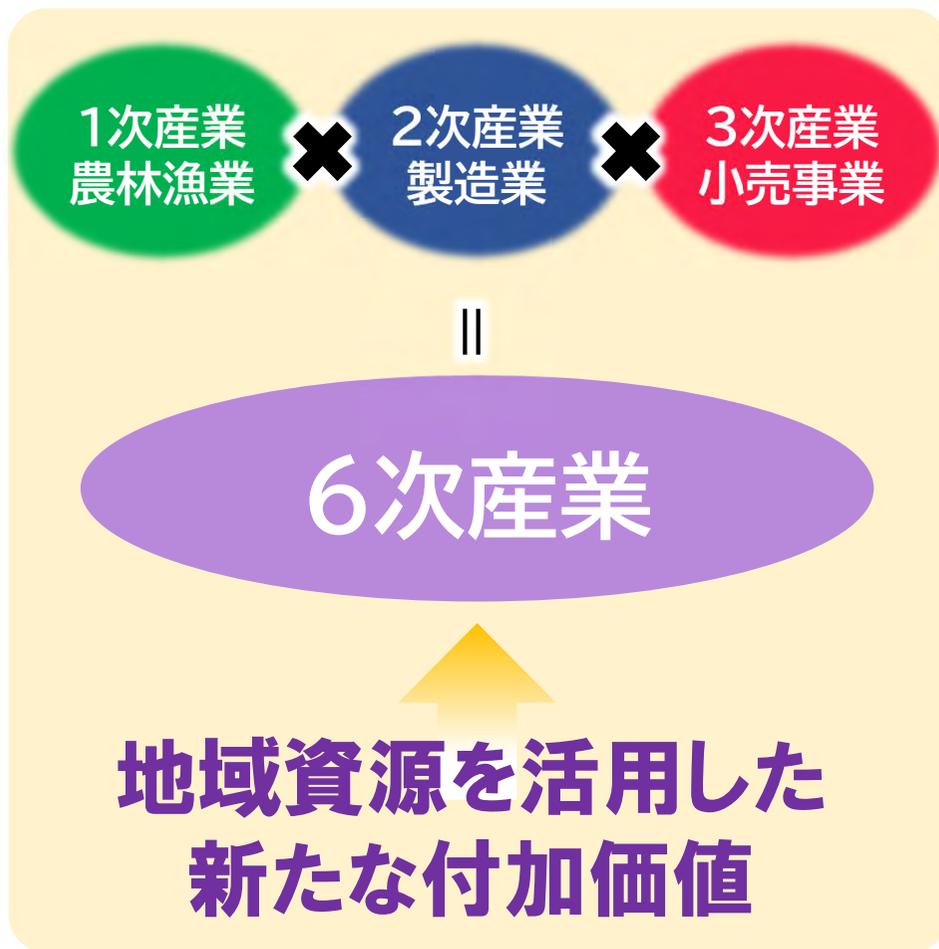
- ・中部横断道の開通に合わせて南部IC直近に物流センターを移転・開設しました。
 - ・昭和町や富士宮市に工場がある大手医療機器メーカーの製品を取扱い、清水港を利用して輸出を行っています。
 - ・中部横断道の開通で、工場や清水港とのアクセスが良くなり、輸送の時間も読めることから、工程を管理しやすくなりました。
 - ・戻りのトラックでは、清水港を利用して輸入した原料を工場に運んでいます。
- (R4.6 企業ヒアリング結果)

出典：甲府河川国道事務所
記者発表資料(R4.9.16)

6次産業化による農業ビジネスの変化

●6次産業とは

1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組み

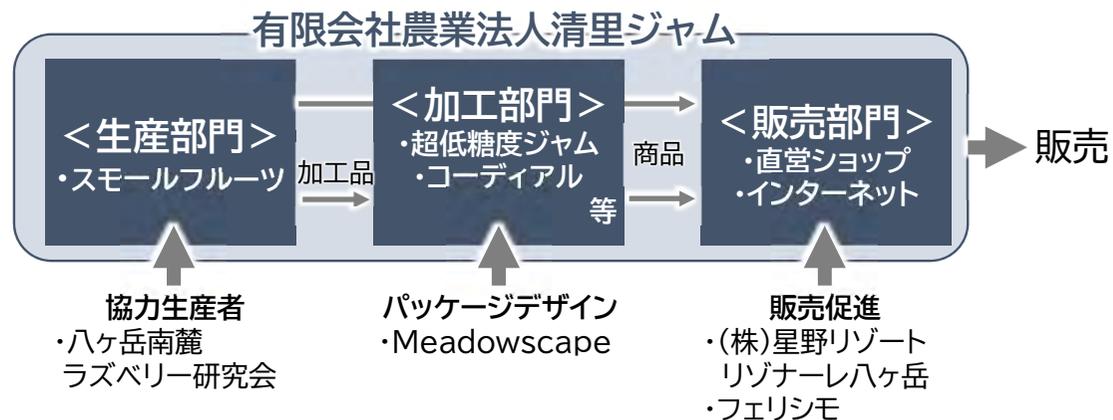


●山梨県内の取組みの事例

国産スモールフルーツを活用した新飲料等の
商品開発と販路拡大

:有限会社農業法人清里ジャム

○国内では生産量が少ないスモールフルーツの豊富な栄養素に着目し、健康ブームの中で新たな需要の開発に取り組んだ事例



グーズベリー
(スモールフルーツの一種)



開発した新商品



北杜高校生と
地域の逸品開発

出典：農林水産省 6次産業化取組事例集(R3)を基に作成

清水港・富士山静岡空港へのアクセス向上



清水港



富士山静岡空港

新鮮な農産物を運搬するための物流環境の確保

●高速道路に近接した物流センター(南部IC)



出典：国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所

●農産物の輸出促進に向けた取り組み(清水港)

■コンテナ詰めができる冷蔵施設(イメージ)



■冷蔵・冷凍用コンテナの電源プラグ(イメージ)



出典：国土交通省関東地方整備局
甲府河川国道事務所

参考：日本通運 成田空港物流センター生鮮棟(所在地：千葉県成田市)

NEX NIPPON EXPRESS | 日本通運

生鮮貨物専用棟

- ・農産物、水産物、畜産物、加工食品
- ・大型製氷機、大型冷蔵庫を完備
- ・定温倉庫内での流通加工業務も対応可能

- 住所：成田市東和泉字境前443-50
- 敷地面積：12,235m²
- 倉庫面積：11,073m²
- 主要設備：大型製氷機(30t/1日)、定温倉庫3倉(+20°C)、冷蔵庫8庫



出典：日本通運

E52

中部横断自動車道

山梨～静岡

全線開通後の整備効果

観光の活性化

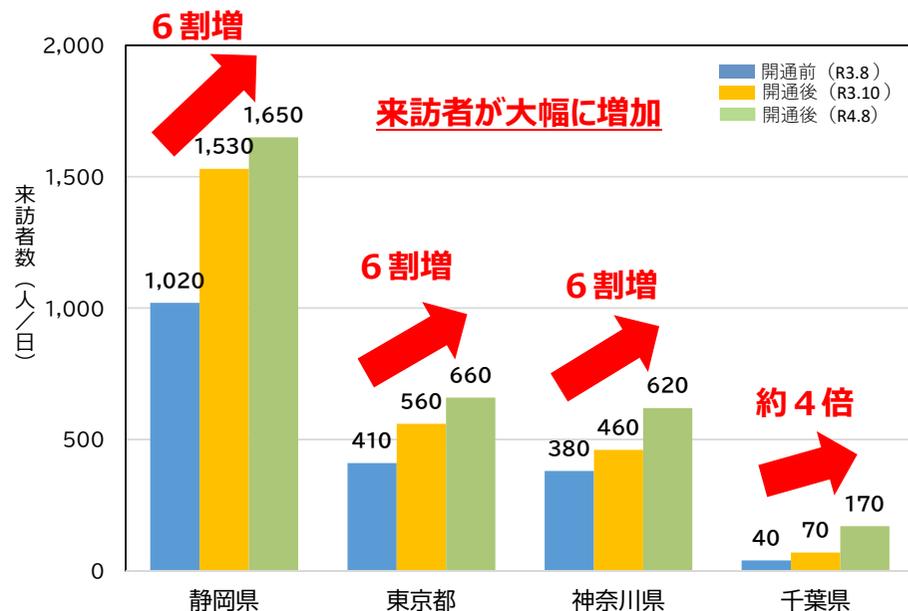
全線開通により
峡南地域への
来訪者数が
大幅に増加

- 峡南地域では開通後、県外からの来訪者数が大幅に増加。
- 地域内施設での購買実績が増加。

地域への来訪者が増えるとともに、経済の好循環に寄与

峡南地域では開通後、県外からの来訪客数が大きく伸びています！

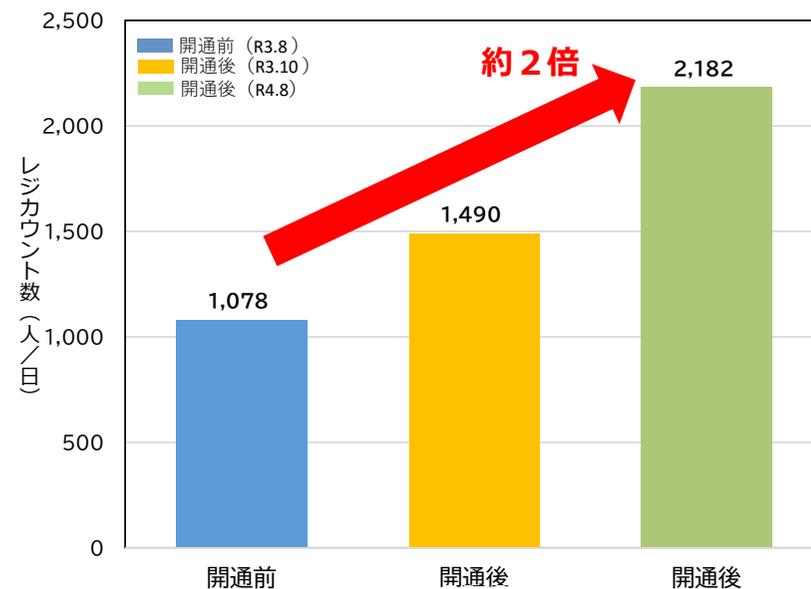
峡南主要観光地 居住地ごと来訪者数



使用データ：DS.INSIGHT（ヤフーデータソリューションの行動ビッグデータ）
 峡南地域内の主要観光地が立地するメッシュを対象に来訪者（ビッグデータのサンプル数）を集計
 開通前：R3.8の休日平均 開通後：R3.10、R4.8の休日平均

地域内施設での購買実績が増加！

道の駅レジ通過数



道の駅富士川

使用データ：道の駅提供のレジカウント数
 開通前：R3.8の休日平均値 開通後：R3.10、R4.8の休日平均値

資料作成：山梨県 県土整備部 高速道路推進課



観光活性化に向けた地域の取組み ～身延山門内周辺の社会実験（令和3年11月）～



道から
にぎわう
門前町へ

山梨県身延町久遠寺
周辺で社会実験を実施します。

2021年 11月
実施

散策しやすい安全な
道路空間を構築して、
にぎわいある門前町
を目指す社会実験を
実施します。

①周遊ルートマップ設置
②歩者一体舗装
③スムーズ横断歩道
④狭さく
⑤駐車場満空情報
⑥交通誘導看板

身延山せいしん
駐車場
久遠寺
身延町身延山(1)
観光協会
仲町駐車場
身延山
久遠寺
52
500m

①回遊性を高める効果的な情報発信

a. 周遊ルートマップ

c. スマートフォンアプリを活用したスタンプラリー



▲周遊ルートマップ

▲商店街・施設紹介動画

b. 商店街・施設紹介動画

d. モニターツアー



▲モニターツアー

参加者の
約92%が
「満足」

②歩車一体舗装



※車道が狭く歩行空間が広く見える視覚的效果を狙い、
路側が車道ににじみ出すようにペイント。

③スムーズ横断歩道



停止した車両
が増加
(映像解析より)

④狭さく



⑤駐車場満空情報提供



⑥交通誘導看板



山梨県のブランド特産物

～ワイン～



地理的表示「山梨」

～ GI Yamanashi ～

ワインの地域ブランドです。

出典：山梨県ワイン酒造組合

～農産物～

あけぼの大豆(身延町曙地区)



浅尾だいこん(北杜市明野町)



梨北米(JA梨北管内)



やはたいも(甲斐市八幡地区)



大塚にんじん(市川三郷町大塚地区)



～ブランド魚～



山梨県内の観光資源

地元のフルーツ



観光・行楽地



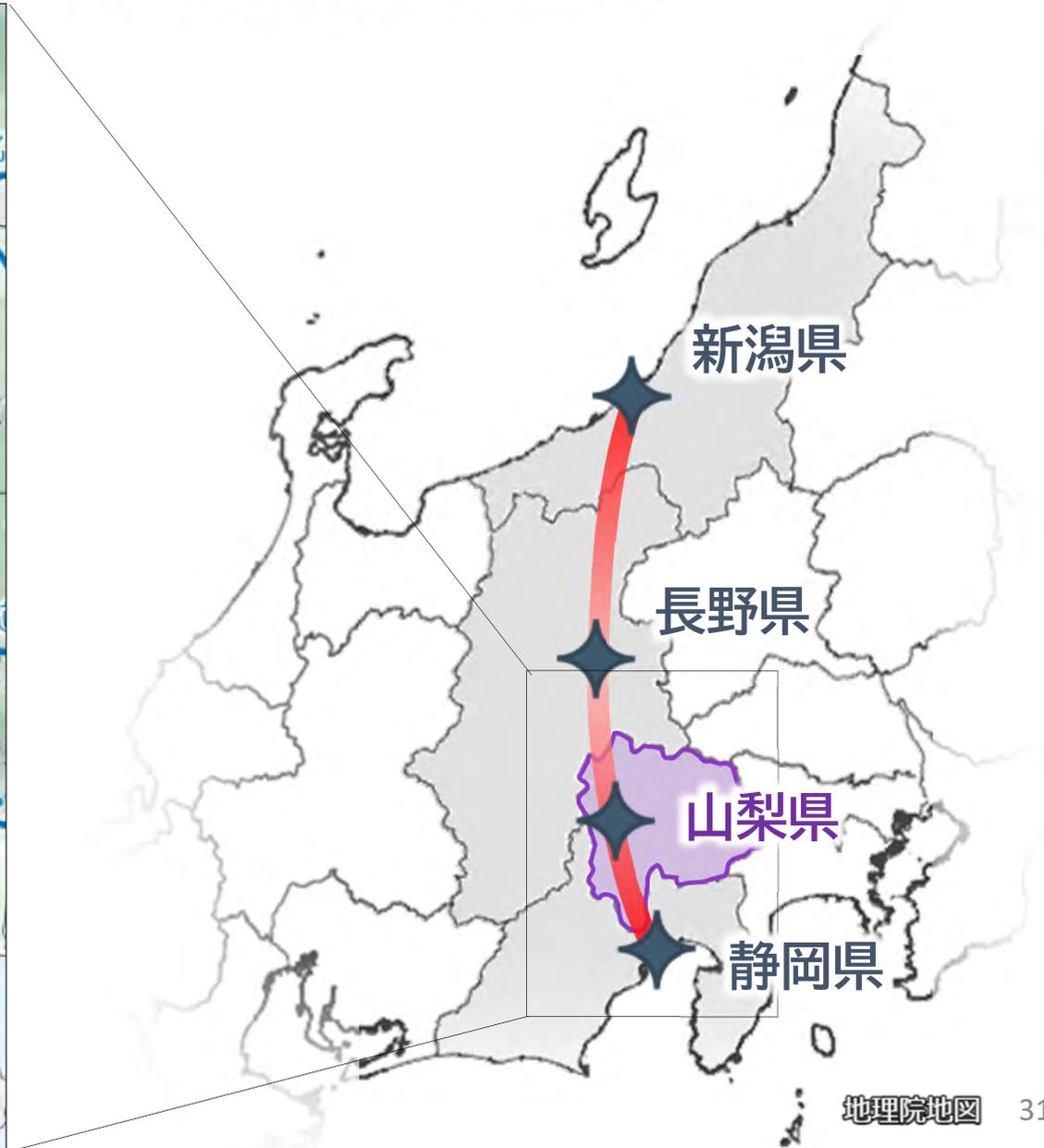
本栖湖からの逆さ富士



本栖湖のキャンプ場 (出典: 身延町HP)

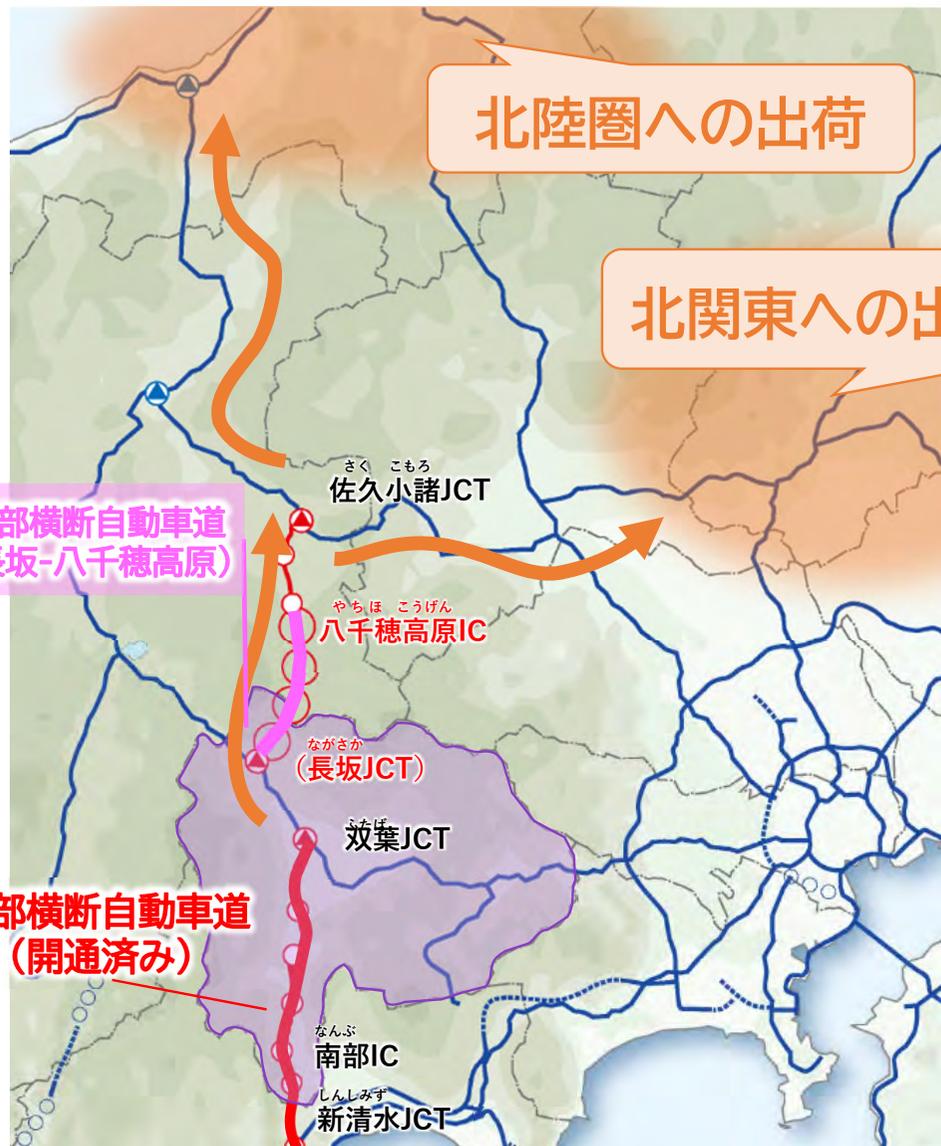
中部横断自動車道長坂以北区間の整備

中部横断自動車道
長坂以北区間



農産物の出荷エリアの拡大

●長野県を經由した新たな配送ルート

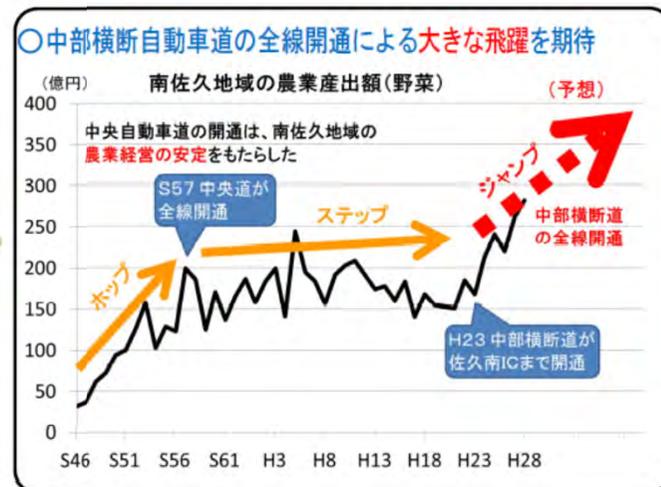


●長野県産の農産物の供給エリア拡大

中部横断自動車道の整備による
 輸送時間短縮、ミッシングリンク解消に
 より供給可能エリアが拡大！
 みずみずしい朝採りレタスを、より多くの
 食卓に届けられるようになります！



レタスづくりには、冷涼な気候が必要。長野県のレタス出荷量は、**全国1位**！特に8月と9月は、南佐久地域と上田地域で全国の**約9割**のシェア！



出典：長野県

2022 ROUTE 日本海-太平洋シンポジウム

(2022年11月11日 佐久平交流センター)



中部日本横断自動車道早期開通を目指して

2022 ROUTE

日本海 - 太平洋 シンポジウム

君は太平洋を見たか、僕は日本海を見たい

～この道がつなぐ「みらい!」～

日時 2022年11月11日(金)

開場 / 12:10 (受付)
開演 / 13:10～16:00

会場 佐久平交流センター

長野県佐久市佐久平駅前 4-1

主催 2022ROUTE 日本海-太平洋シンポジウム佐久実行委員会

(一財) 自治総合センター

(お問い合わせ) 佐久市役所 道路建設課 高速交通係 TEL0267-62-3439



2022 ROUTE

日本海 - 太平洋シンポジウム

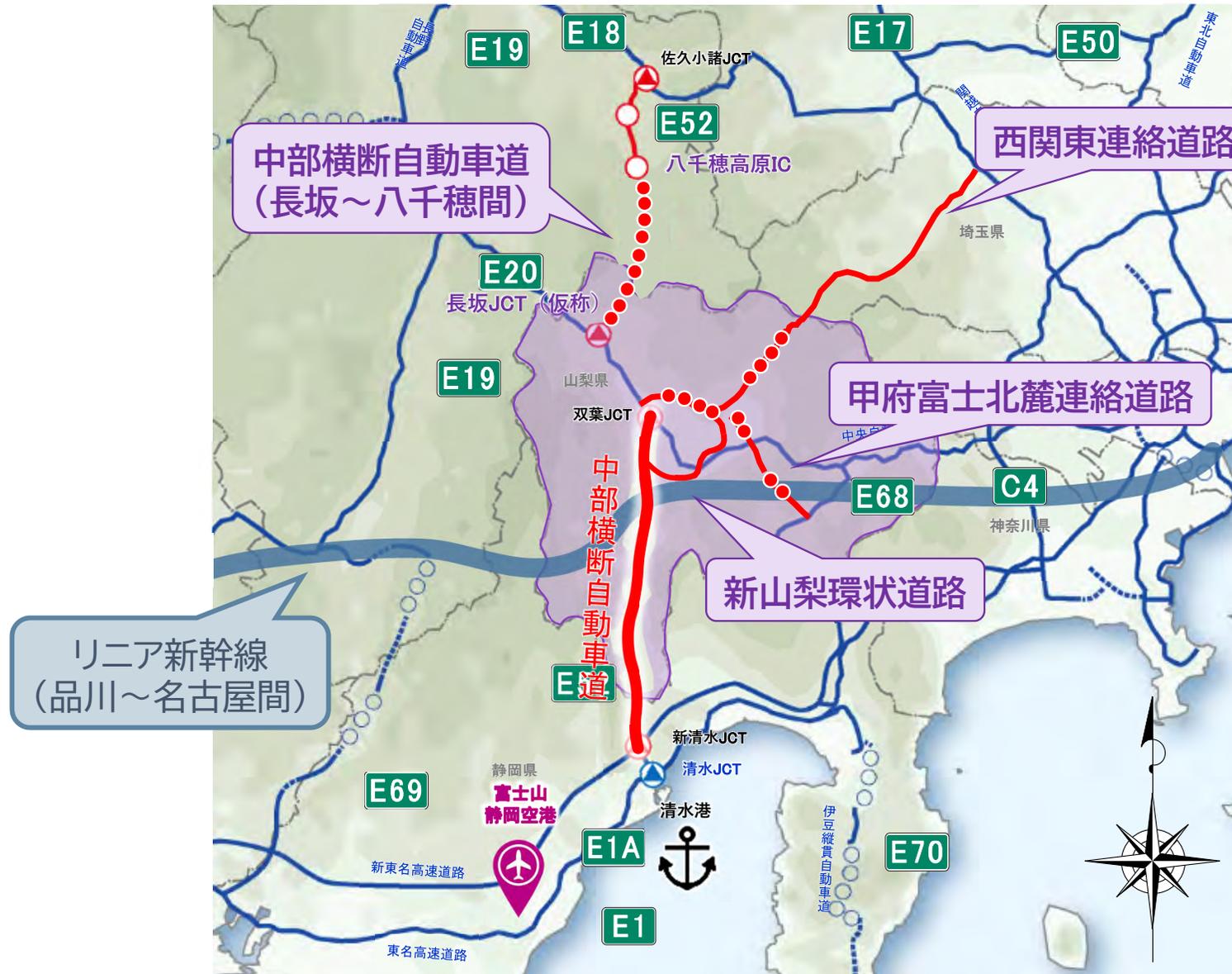
2022年11月11日(金) 佐久平交流センター
開場 / 12:10 (受付) 開演 / 13:10～16:00

プログラム

- 13:10 オープニングムービー
- 13:15 開会
(主催者挨拶・来賓祝辞・知事ビデオメッセージ)
- 14:00 基調講演
「中部日本横断自動車道のみらい」
講師：市川正夫氏 (長野県地理学会会長)
- 14:40 パネルディスカッション
「中部日本横断自動車道の利用促進と効果について」
モデレーター 佐久市長 柳田清二
パネリスト 長野県地理学会会長 市川正夫氏
上越市長 中川幹太氏
北杜市長 上村英司氏
南アルプス市長 金丸一元氏
静岡市長 田辺信宏氏
- 15:45 「ROUTE日本海-太平洋」整備・利用促進の今後の在り方について
- 15:50 ROUTE 日本海-太平洋パートナーシップ協定締結式
- 16:00 閉会



山梨県の将来交通インフラ像



道路整備がもたらす効果とは、



※過去3回のディスカッションとの関連性

メディア（手段・媒体）としての高速道路の役割



避難場所としての
利活用

↓
防災力の強化



SA・道の駅を介した
地域の魅力発信

↓
観光、地場産業の強化



交通ネットワークを活かした
企業立地

↓
産業の強化



地域の魅力と調和の取れた開発

↓
地域の持続可能な発展